

後期前半を振り返り、来年の抱負を語る - 全校放送集会 学年代表生徒発表 - (2020.12.25)

1 A 武井琥太郎
僕が今まで頑張ったことは二つあります。一つ目は委員会です。学年委員としてクラスでの呼び掛けや学年集会のことについて考えました。書記として意見をまとめることもできました。二つ目はテスト勉強です。僕は、点数がかたよることがあったので、バランスよく勉強できるように計画し、毎日90分以上こつこつと頑張りました。そのお陰で、自分でも納得できる点数と順位を取ることができたのでよかったです。2年生になる準備をする、これからの時期に頑張りたいと考えていることは、自学を一日2ページ、平日の学習時間を90分にするということです。また、定期テストで点数がよくなかった理科と社会の学習に充てる家庭学習ノートのページ数と時間を増やしていくことです。このように苦手な教科を克服していくようにしたいです。



2 C 鈴木勇志
後期前半までの自分自身を振り返ると、成長できたと思うことや、頑張ったと思うことがたくさんあります。その中から、二つについて話したいと思います。一つ目は学習についてです。苦手な教科の点数を伸ばすことができました。ぼくは、五教科の中では社会が一番苦手でした。テスト前には、社会を重点的に勉強しても、結果は社会だけが悪くなってしまいました。そこで、自分に合った勉強の仕方を見付けるために、ワークをひとつとおりに最後まで学習したら、もう一度初めから繰り返して学習し、間違ったところを中心に復習するようにしました。この方法で取り組み、いつもより大幅に点数を上げることができました。このように自分に合った勉強の仕方を続けていくことで、他教科でも力を伸ばしていきたいと思えます。特に社会は、苦手教科ではなく、得意教科といえることを目標に学習を続けていきたいと考えています。二つ目は、部活動です。大会などでよい成績を残せるように、普段の練習から走り込みを頑張ったり、ディフェンスを中心とした練習をしたりしました。つらいときにはみんなで声を出し、盛り上げたりしました。男鹿湯上南秋地区は、バスケットボールのレベルが高いので、一日の練習時間を活用して、キャプテンを先頭に、リバウンドをとってからの速攻や、一対一、三対三の対人練習、たくさん走るランメニューといったきつい練習にも一生懸命に取り組んできました。その結果、地区の大会で準優勝することができました。残念ながら先日の小玉杯では天王中に敗れてしまいましたが、そこでの課題であったリバウンドをとる練習で、常にボールを取りに行くという意識をチームのみんなでもつようにしています。どこのチームにも負けないように、一つ一つのプレーを大事にして、今度こそ優勝できるようにしたいと思っています。冬休み明けからは、学習と部活動を更に充実させ、両立していきたいと思っています。

3 C 三浦 壮晴
僕は、3年生として、自信をもって生活していくことを目標に、4月をスタートしました。しかし、昨年新型コロナウイルスが発生し、日本にも感染者が出ました。3月には「緊急事態宣言」が発表され、学校は約1か月間休校となりました。今までの当たり前は変化し、マスクを着用することや密を避けることなどが当たり前の生活となりました。そして、3年生になり、期待していた学校行事も思うようにできず、とても悲しかったです。運動会は、生徒のみでの開催となり、また東中祭は市民文化会館で合唱コンクールなどのステージ発表のみの開催となりました。しかしその分、運動会では応援練習に力を入れて取り組み、東中祭では合唱と有志発表の練習を頑張りました。その結果、運動会では応援で一位を取ることができました。また、東中祭での合唱では、どのクラスも、練習の時以上に綺麗な歌声が響きわたっていました。有志発表では、音響設備の整った場所、友達とステージに立つことができて、とてもうれしかったです。また、ステージに立った経験は、自分にとって自信をもつことにつながったと思います。学校のみならず生徒会、先生方の協力のおかげで、最高の思い出になりました。僕が冬休みに頑張りたいことは、自分の苦手を克服することです。僕は作文や読み取りの問題が苦手なので、本や新聞を読んだり、記事を書き写したりして、文章の構成を自分で考え、読むことに慣れて、文章を読み書きする力を身に付けたいです。また、英語については、好きな音楽を通じて英語に触れる機会を増やし、今よりもっと興味をもって、意欲的に学習に取り組めるようにしたいと思います。受験まであと2か月ほどとなり、残された時間は少なくなってきているので、受験の準備期間として、この冬休みを充実した時間にしたいです。東中祭のステージに立った時と同じように、練習を積み重ね、自信をもって受験に挑めるようにしたいと思います。

合格祈願の思いを込め、絵馬づくり

生徒会執行部ではこのほど、新年早々の私立高校入試を皮切りに、受験シーズンが始まるのを前に、3年生を応援したい、これまでの学校への様々な貢献に感謝したいとして、合格祈願のお守りや絵馬をつくる計画を打ち出しました。生徒会の呼び掛けに応えた1、2年の生徒有志は30名弱。12月9日から23日まで朝の10数分間を使って、こつこつと心を込めて手づくりしていました。



完成したお守りや絵馬は25日朝、制作に携わった1、2年生から3年生へと手渡されました。下級生の応援の気持ちを知った3年生の教室には笑顔があふれていました。



勝負の冬 受験に打ち勝つ食事 (2020.12.23)

トップアスリートが最高のパフォーマンスを発揮するための、コンディショニングとしての食事を紹介する「勝ち飯」は皆さんがご存じのことでしょう。本校ではこのほど、3年生を対象に頑張る生徒の力になる食生活をテーマに、井上栄養教諭が授業を行いました。人間には一日周期でリズムを刻む体内時計があること、体内時計は朝起きて光を浴びることによってリセットされ、一定のリズムを刻むこと、朝食をとることは体温を上げることや脳にブドウ糖を補給すること、胃に食物が入ると大腸が収縮して便を押し出すこと(胃・大腸反射)などが紹介され、改めて朝食の重要性を認識することとなりました。また、朝食をしっかり取るためには就寝前にスマホ等のブルーライトを避け、睡眠を確保するなど、食事と睡眠の関係が紹介されました。最後に小玉海龍さんは「寝る前のスマホの時間を学習に充てたい」と決意を表明しました。



チーム東中 栄光の足跡

- ☆第9回小玉杯市交歓バスケットボール大会☆12月13日
- 【中学校女子】準優勝【中学校男子】準優勝
- ☆第61回県児童生徒美術展 男鹿湯上南秋地区☆
- 【入賞】吉田心美、伊藤あい梨、小林夕尋
- 【佳作】大高彩葉、加藤小雪、皆川泰輝、石川ゆらら、小松萌依、佐藤理子、丸山和佳子
- ☆全日本アンサンブルコンテスト第43回秋田県大会中央地区予選☆12月20日
- 秋田市男鹿湯上南秋地区中学校の部
- 【銅賞】管打7重奏

年末年始休業のお知らせとお願い

冬季休業中は次の期間を年末年始休業として教職員の勤務と部活動を行わないこととしますのでご理解のほど、よろしくお願ひいたします。
【期間】令和2年12月29日(火)から令和3年1月3日(日)まで
なお、出張等で学校を離れて勤務する場合は多いことから、ご相談などの場合はあらかじめお電話で確認をお願いします。万一事故等があった場合や生徒の心配な行い等を見掛けた場合は、速やかに学校へご連絡くだされば幸いに存じます。

